

令和5年度学校評価自己評価表（当初）

評価計画						自己評価						学校関係者評価 コメント
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	担当	評価項目・指標	目標値	中間 11月	達成度	評価	最終 2月	達成度	評価	
						自他を認め合う 生徒			自己有用感の育成			・校内適応指導教室の利用 ・教育相談体制の充実 ・SCやSSW、校外適応 指導教室等の外部関係機 関との連携促進
・生徒が相互に認め合う 集団づくりによる共感 的人間関係の育成	生徒 指導	アセスアンケートにおける 「友人サポート」の偏差値が 50以上の生徒割合	80%									
夢や目標に向かっ て努力する生徒	自己指導能力の育成 ★	・生徒会活動や特別活動を 基盤にした、個性や多様 性を認め合い、安心して 学校生活を送れるような 風土づくり	生徒 指導	生徒アンケートにおける「将 来の夢や目標に向けて努力し ている」への肯定的な回答の 割合	75%							
		・調べ学習や課題発見・解 決学習、レポート作成等 生徒が自ら考え、選択し 決定する、あるいは発表 する授業の創造	教務	生徒アンケートにおける「授 業では、生徒が自ら考え、選 択し、決定する場面がある」 への肯定的な回答の割合	80%							
共に学び合う生徒	表現する力の育成	・教師のファシリテートに よる生徒主体の学習の実 現に向けた授業改善	教務	全国学力・学習状況調査児童 生徒質問紙において「課題の 解決に向けて、自分で考え、 自分から取り組む」生徒の割 合	85%							
		・生徒の実態に応じたICT の活用による、個別最適 な学びの実現	教務	生徒アンケートにおける「学 習の中でPC・タブレットなど のICT機器を使うのは勉強の役 に立つ」への肯定的な回答の 割合	70%							
		・根拠を明確にして自分 の考えを表現する授業 づくり	教務	生徒アンケートにおける「授 業で、自分の考えを発表する 機会では、自分の考えがうまく 伝わるよう、資料や文章、 話の組立てなどを工夫して発 表していた」生徒の割合	65%							
地域に開かれた 信頼される学校	小中連携の充実 ☆	・基本的学習習慣の確立 を図るための家庭学習 の指導の工夫	教務	1週間の家庭学習時間の合計 が1学年840分（1日平均120 分）、2学年1050分（1日平均 150分）、3学年1260分（1日平 均180分）の達成生徒の割合	80%							
	情報提供	・学校だより等の定期的 発行及びHPの定期的な 更新	教頭	保護者アンケートにおける 「参観日、懇談会、学年・学 校だより、HP等で学校の様 子がよくわかる」への肯定的 回答の割合	90%							
	地域連携	・地域に貢献する活動への 生徒参加	教頭	①生徒アンケートにおける 「今住んでいる地域の行事に 参加している」生徒の割合 ②生徒アンケートにおける 「地域や社会をよくするため に何かしてみたいと思う」生 徒の割合	① 50% ② 65%							
働き方改革の推進	時間外勤務の縮減	・業務改善を推進し、教職 員の在校時間の短縮を図 る	教頭	時間外勤務時間 ①月80時間以上の教職員の延 べ人数 ②時間外勤務時間の月平均時 間	①40人以内 ②48h59m 以下							

重点項目★

小中共通項目☆

到達度＝実施／目標値×100

【自己評価】達成度をA～Dで評価（A：100% B：80%以上 C：60%以上 D：60%未満）